

## 上越新幹線直行特急早期実現期成同盟会の概要

上越新幹線直行特急早期実現期成同盟会

（事務局：柏崎市総合企画部企画政策課）

### 1 組織概要

#### □ 設 立

- ・昭和62年12月1日

#### □ 目 的

- ・信越本線（長岡・上越間）の在来線の新幹線直行特急の早期実現
- ・信越本線（長岡・上越間）の利便性の維持・向上

#### □ 構成団体

- ・新潟県並びに長岡市、上越市、柏崎市、糸魚川市及び刈羽村の行政、議会及び商工会議所等の商工団体

#### □ 役 員

- ・会 長：新潟県知事
- ・副会長：長岡市長、上越市長、柏崎市長、糸魚川市長、刈羽村長及び新潟県交通政策局長
- ・監 事：長岡商工会議所会頭及び上越商工会議所会頭

#### □ 顧 問

- ・新潟県関係国会議員

#### □ 事 務 局

- ・柏崎市総合企画部企画政策課

### 2 主な活動内容

#### □ 会議の開催

- ・総会
- ・幹事会

#### □ 事業

- ・調査研究 幹事視察：山形・秋田新幹線

新幹線・在来線の対面乗換え（九州新幹線）  
鉄道利用と地域活性化（村上駅、村上市）

情報収集

- ・ 要 望 国土交通省への要望  
東日本旅客鉄道(株)への要望
- ・ 啓発宣伝 シンポジウム等の開催  
パンフレット等の作成・配布  
ホームページの公開

3 その他

- 同盟会の設立以来、「上越新幹線直行特急（長岡・上越間）の早期実現」を目的として活動を進めてきたが、2014年に迫った北陸新幹線の長野・金沢間の開業に伴う長岡・上越間を含むこの地域の鉄道交通体系の大きな変容に対応するためには、まずは、この区間の鉄道利便性の維持・向上が喫緊の課題として考えられることから、平成18年度に規約を改正し、「信越本線（長岡・上越間）の利便性の維持・向上」を同盟会の目的として追加した。また、目的に向けて活動を展開するには、この同盟会に加盟する長岡・上越間の沿線自治体だけでなく、新潟市をはじめより広範な信越本線沿線自治体との連携・関係強化も必要であるとの認識から、「信越本線関係自治体との連携」を活動内容に追加した。

※ 付録：平成21年度事業計画（平成21年6月23日開催の総会で承認）

## 平成21年度 事業計画

2014年度（平成26年度）の金沢開業を目指して整備が進められている北陸新幹線や高速化の取り組みが検討されている羽越本線と呼応して、長岡・上越間の在来線に新幹線直行特急を導入し、上越新幹線との新幹線・在来線直通化を図ることは、昭和48年に基本計画決定された富山・青森間の「羽越新幹線」構想とも重なり、将来の新幹線による日本海縦貫高速鉄道交通体系として沿線各地の住民の交通利便性を向上させるだけでなく、新潟県の拠点性の強化や県土の均衡ある発展を促進させるとともに、東北から新潟・北陸・近畿に至る日本海沿岸地域がわが国の機軸として存在感をより高めることにつながるものである。

北陸新幹線や羽越本線の動向を踏まえると、地域の鉄道交通体系は近い将来において大きく変容することが確実な状況にあり、この区間が高速鉄道交通体系から取り残されることのないように、その対応を図っていくことが大きな課題となっている。

また、信越本線（長岡・上越間）の利便性の維持・向上についても喫緊の問題として認識される所であり、平成19年の新潟県中越沖地震においては、長期間の不通により乗客や貨物輸送などに影響を与え、日本海縦貫路線としてのこの区間の重要性がより一層理解されたところである。

そのため、新潟県がこうした取り組みの実現に向けて平成15年度から進めてきたこの区間の基礎調査を踏まえ、引き続き新潟県と協力・連携するとともに必要な活動を展開する。

### 記

#### 1 上越新幹線直行特急（長岡・上越間）の早期実現に向けた活動

##### （1）調査研究

- ・新潟県が進めてきた基礎調査を踏まえた検討
- ・資料・情報の収集と分析

##### （2）その他、目的の達成のために必要な事業

#### 2 信越本線（長岡・上越間）の利便性維持・向上に向けた活動

#### 3 上記の事業に資する活動への支援及び協力

- ・上越新幹線活性化同盟会及び関係諸団体との連携
- ・信越本線関係自治体との連携